

饅絵の里：津金を歩く

饅絵巡りシリーズ・津金編

・距離 約8 km ・所要時間 3時間 ・スタート・フィニッシュ おいしい学校駐車場

・コース

おいしい学校駐車場(トイレ) → 御所(ごしょ) (饅絵 3件) → 下原(しもはら) 道祖神 → 下原(饅絵 3件) → 七子の滝 → 和田(饅絵 2件) → 明治校舎(展示見学: 饅絵 2件・下絵 1件) → おいしい学校(昼食・トイレ) → 御所(饅絵 2件) → 諏訪神社 → 大和(おおわ) (饅絵 2件) → おいしい学校駐車場(トイレ)



鑊絵を手がける有名な左官さんがいた山梨を代表する鑊絵どころ津金。私が見つけた鑊絵は16カ所。老朽化していく鑊絵の修復をこの地の左官さんが引き受け、そのおかげで今も多くの鑊絵があるのだとか。ここでは限られた範囲に多くの鑊絵が点在し短時間で多くの作品を見て歩けます。三代校舎津金学校（明治校舎）には、鑊絵の展示もありますので、こちらにも立ち寄りたいたいものです。また、コースには入れてありませんが、海岸寺まで足をのばすと有名な石仏群とともに、経堂には開口部扉などに白漆喰のみで描かれた鑊絵の秀作を見ることができますので健脚にはおすすめです。

以下このコースで見ることができる鑊絵をいくつか紹介します。



① 米俵に乗った「大黒様」は多いけれど、これは俵に肘をついています。津金のメインストリートを飾る逸品。



③ 下原地区は特に鑊絵の集中するところ。これは夜空を背景に枝に羽を休める「松に鷹」。品のある作品。



② 油屋商店の看板鑊絵の上には富士山がのっています。灯明の油を商った屋号にも時代を感じます。母屋の丑鼻には「波に千鳥」、波が立体的に描かれていてこれがまた秀作。



④ 黒い背景に背負った袋の中に描かれたこの構図の「大黒様」、めずらしい。



⑥ 民家外トイレの明かり窓に描かれた「三日月」はここでしか見られません。花王のマークがこんなでしたね。



⑤ 津金学校二階には解体された建物に配されていた鑊絵が数点展示され、その一つでこれは名工：三井左官の自信作とのこと。また鑊絵の下絵も一枚展示されています（次写真）。



⑦ 津金最北端の大和地区にも鑊絵。鑊絵で描かれる七福神は大黒・恵比寿が圧倒的に多いのですがこれは「寿老人」、珍しい。

(ハヶ岳歩こう会編)